

時をこえて

日見小学校 三年 大木 梨音

私は、思わず見とれていました。目の前に、  
黄金色にかがやくいなほと、真っ青に広がる  
空の風けいが広がっていたからです。とても  
きれいで、しばらく目をうばわれていました。  
去年の秋、母が

「吉野がりいせきに行こう。」  
と言いました。私は、そこがどういう場所か  
よくわからなかったのですが、行ってみてお

どろきました。そこは、やよい時代の集落を  
さいげんしていて、タイムスリップしたよう  
な気分になりました。この時代に、米作りや  
金ぞくの道具が伝わったとされています。

ここでは、古代米と言われている「赤米」  
を食べることができます。私は、赤米のおに  
ぎりを食べました。白米と赤米を混ぜてたい  
ているのでさくら色になり、見た目がきれい  
でかわいいおにぎりでした。食感はもっちり  
していて、どくとくのこうばしい風味があっ

てとてもおいしかったです。やよい時代のけ  
色を見ながら古代米のおにぎりを食べ、本当  
にゼいたくな時間をすごしました。昔の人も  
同じお米を食べていたんだと思い、今と昔が  
お米でつながっているような不思議な気持ち  
になりました。

日本はお米の国で、なんと、三百しゅるい  
以上あるそうです。日本の気こうにあおせて、  
また日本人の好みにあうようにかいりょうさ  
れてきました。昔の人が、お米をたやさず大  
切に育ててくれたおかげで、私たちは今、お  
いしいごはんを食べることができます。

しかし今、日本人のお米の消ひりょうがへ  
ってきているそうです。せつかく長い間、お  
米の文化がつづいているのに、もったいない  
と思います。私はこれからも、ごはんを食べ  
られることに感しゃして、大切に味わって食  
べようと思います。昔から今、そして未来へ、  
お米のおいしさやすばらしさを伝えていきた  
いです。